

学校法人
内丸学園
盛岡幼稚園

園報

第240号
(3月)
2017

幼稚園での遊びは全て学びです

認定こども園・盛岡幼稚園 理事長 坂本 洋

弥生3月を迎えました。寒冷の盛岡も心なしか春の兆しです。

私の執務室には、年長児の「ドキドキドン！一年生」の元気な歌声が聞こえます。間もなく幼稚園を卒業し、小学校への希望に満ちた門出への笑顔が浮かびます。

幼稚園における子ども達の成長、学びは、多様な環境の中での主体的な遊びを通して、心情、意欲、態度を育むことが中心です。

最近では、心情、意欲、態度を非認知能力の育ちとして改めて重視します。それは幼児期における非認知能力の指導、育ちは、教育的に最も効果あることが証明されて、また、幼児期にその育ちが進まないとい生涯人生の成功達成が低いことやその育ちの臨界期が幼児

期であることが科学的に指摘されたことを基にしております。

具体的には自制心、我慢強さとかやりぬく力ですが、中でも自制心、自分の感情や欲望を適度に抑えコントロールする力の育ちが大事だとされます。

前回園報にも述べましたが、必要以上に管理された子どもは自制心が低い。子どもの自主性を基本に選択することを見守る（できた結果が自分の選択が良かったと感じられ、満たされる体験。逆も体験しフォローします）。教え理解させるより繰り返し記憶に残すかわり（習慣化、ルール化とも言われ、朝〇時には起きる。食事の前に甘いものは食べない等の簡単な繰り返し）の継続でき

るもの。頑張れる水準を明確に示し少しずつ引き上げる（新しいことに挑戦する）。私も幼稚園でも日々の活動の中で実践しております。ご家庭でも丁寧にかかわってください。

それと同時に、認知能力の育ちにも力を入れなければなりません。その能力とは理解力、判断力、記憶力、想像力、計算力などですが、日々のお友達との何気ない楽しい遊びから、まずは健康な体力と運動機能、挨拶にはじまる言葉による伝え合い、仲間同士の遊びによる豊かな感性と表現力、社会的ルール規範性の芽生え、発達に応じた思考力の芽生えの向上が、認知能力の育ちとなるものと言われます。

幼稚園は、子どもが初めて出会う学校です。幼稚園での学びは、遊びにはじまります。「幼稚園での遊びは全て学びです！」このことを裏付けるご報告をしました。

人間教育は、知能指数・学力や記憶力として数値に評価できる認知能力と、思いやり、協調性、自制心、意欲や勤勉性、自尊心など数値に表わせない非認知能力がバランスよく育たないといけません。



1歳児ままごとあそび

さて、もう一つ重視することがあります。私たちの施設は、三年前から新制度として幼保連携型認定こども園として、三歳未満児の教育・保育を一体的に運営することが責務となりました。ここ二

年ほど職員園内研修は、一、二歳児の発達・育ちの上に、三歳児の幼稚園教育が充実することを念頭に学習を続けております。特に乳幼児のことばの発達、思考力の芽生えに注目し、遊びを通す丁寧なことは掛けや絵本の読み聞かせに力を入れております。知的発達、認知能力の育ちの基礎となるものです。

卒業おめでとう

キラキラがいつぱい

Aクラス担任

田口 千聖
南幅 優里

3月、いよいよ卒業の日を迎えます。卒業式では、旅立ちの歌として「ドキドキドン！一年生」キラキラがいつぱい「こころのねっこ」の3曲を歌います。この歌詞にあるように、子ども達はいつのまにか大きくなり、いつのまにか色々なことができるようになりました。3学期、コマ回しや縄跳びの記録更新に一生懸命挑戦している子ども達の姿を見ると、幼稚園で過ごした毎日の中で、継続する力、あきらめない気持ちや育ってきたことを実感しています。

お泊まり会の前日に、雨の中みんなで購入しに行ったこと。運動会のリレーでお家の人に向かって懸命に走る顔。様々な行事に向かって取り組む中で、胸が熱くなるキラキラした場面がたくさんありました。春夏秋冬、毎日の遊びにも心に残る思い出がいつぱいです。私達も子ども達と同じ目線で、



ワクワクしたり、あゝ楽しかったと感じたりしながら一年間過ごしてきました。「先生、見て！」と発した瞬間、「やったー☆」とできるような瞬間に立ち会うことができ、本当に嬉しく思います。様々な思い出と共に卒業を迎えることができたのも、これまで支えて下さった保護者の皆様のおかげです。ここで過ごした毎日が、これから始まる学校生活へのパワーになりますように☆Aクラスさん、卒業おめでとう！ずっと応援しています。



Aクラス「集合写真」

進級おめでとう

友達とのつながり

Bクラス担任

向井 里奈

進級当初、2階の生活に目を輝かせて飛び込んできた子供達。「やってちょうだい」「これ作って〜」が多かったみんなも、先生や友達の遊びのひらめきをヒントに、だんだんと自分たちで遊びの空間を作り出し、自分だけの好きな遊びから友達との遊びを楽しむまでに成長しました。中でも、みんなとたくさん遊んだ『ごっこ遊び』。お家ごっこ、ネコごっこ、洗濯ごっこ…等々、幼稚園や家庭での生活すべてがごっこ遊びの題材となつていきます。それぞれのひらめきがつながりを持ち、遊びが広がりが発展していくおもしろさが、そこにはあるように感じています。みんなの口癖は「あ！いいこと思いついた」。そのひらめきの表情がなんとも可愛い。「ああしたら？」「こうしたら？」と自分達のイメージを広げ、表現する楽しさ。そして安心できる友達存在に居心地の良さと嬉

しさを感しながら、一緒に居られる友達へのありがたの気持ちが生まれてきたように思います。2月の参観日の劇遊びでは、今までの遊びの中での経験が力となり、配役をどうしたらいいかみんな考えて、衣装のイメージを出し合つて相談し、恥ずかしがりながらも友達を頼りに助け合う姿が作り上げた『ありがとうの木』。これからも友達とのつながりを大切に、たくさんのがらが花を咲かせていってほしいです。

「大きくなったよ」

Cクラス担任

井上 裕美子

「これから、でんでんの帽子屋さん」をはじめます。」と大きな声で劇ごっこの始まりを知らせる子どもたち。お客さん（保護者の方）やいちご・つぼみ組がいてもいなくても、「やりたい」気持ちが変わらず、参観以降も楽しんで劇ごっこをしていました。お店役と森の友だち役の言葉の繰り返しを覚えて、どの役でもできるよ

になり、毎日配役を変えて挑戦。なりきって遊ぶ姿をみて、「こういうやりとりもできるようになったのだな。」と嬉しくなりました。

一学期を振り返ると、おかあさんたちと離れることが寂しくて泣いていた子や泣くこともできず顔が引きつっていた子もいましたね。まだ紙パンツをはいていて、トイレに行くことを嫌がることもありました。何でも先生と一緒にやってみてやり方を知る、初めての経験がたくさんあった一年。小さい体で、戸惑いや不安も感じて、めげそうになっていたこともあったけれど、一步一步進み、いつの間にかできるようになったことがいっぱい。勇気を出して、進んでいく姿に、「みんなのパワーはすごいな」と感心すると同時に私も力をもらっていました。

一年間、みんなと一緒に過ごせて、とても幸せな時間でした。保護者の皆様に、ご協力頂き感謝しております。これからも子どもたちの成長が続きますが、素直な日々になると信じ応援しています。



絵本との触れ合いの中で

保育部 高村 和江

日中の日差しが暖かくなり、春の訪れを感じる季節となりました。保育部の子ども達もこの一年で一人ひとりが安心・安定した生活ができるようになり、笑顔をたくさん見せてくれるようになりました。

さて、子ども達と共に生活する中で「絵本」とのかかわりがとても大きいことを感じています。自分のお気に入りの絵本をもってきて保育教諭の膝に座ります。そして周囲の子ども達も読んでもらいたい本を手にながら絵本の世界を一緒に楽しめます。これは保育教諭が居心地の良い存在になっていること、コミュニケーション(心の触れ合い)が安心感や楽しさにつながっているのだと思います。そこで、ご家庭でもぜひ絵本の読み聞かせの時間を大事にしていただきたいと思います。子どもを膝にのせて、あるいは添い寝しながらもいいでしょう。今の時期お母さんの心を絵本のことばに載せて読んでもらうことは子どもにとってもとても貴重な経験になります。

保護者から

3年たちました

いちご 長谷川朋子(慎)



子どもは心の中で楽しい世界を経験しているのです。一冊の絵本を通して共感し合うことが豊かな感性や情緒を育んでいくことにもつながっていきます。

子どもの健やかな成長を願い、絵本を通して親子でかけがえのない時間を過ごしてほしいと思います。

盛岡に転入して6年、三男は8か月からお世話になっていきます。保育園では恒例となりつつある2月の参観。まず朝一緒に登園し、いつもの遊びに一緒に加わり…と予定通りと思っていました。この後は劇遊び?ホールで??とのことでびつくりしました。劇なんてCクラスからなのかと思いついで、本当に??と内心思いながらホールに移動し子どもたちを待ちました。

…いつも朝泣いていたあの子や保育室から脱走していたあの子が、ちゃんと頭にお面をかぶって



いちごクラス「絵本やさんごっこ」

並んで入場してきた!そして家ではプチ殿様の三男がもじもじしている(運動会もそうでしたが!)いやもう、小さい頃からみているせいかそれとも少人数だからなのか、危なっかしいからなのか(笑)、親戚の子のようにこちらがドキドキしました。

みんなであわせて台詞を言うけど合わなかったり、ステージ上の大きいけど小さい手ぶくろにどんな子どもたちのかわい顔が並んでいたり。2歳児クラスの等身大を満喫し、大人も幸せな楽しい時間でした。

赤ちゃんが入園した三男も、もうエプロンお兄さんになるんですね。準備はできているみたいです。

ありがとうの木

柿坂佳菜恵(悠乃)



「あと何回寝ると参観日来る？」
待ち遠しくてたまらない子供
と、少しドキドキして観に行つた
参観日。子供達が、この日のため
に一生懸命練習した「ありがとう
の歌」や、「ありがとうの木」の
劇を披露してくれました。

初めて観た「ありがとうの木」
に思わず目頭が熱くなつてしま
いました。このお話は、とある冬
の寒い日にくまさんが偶然自分
の手袋を落としてしまうところ
からスタート。その後、いろい
ろな動物たちが木の前を通り、
温かい心のつながりが続い
ていくというお話です。劇の中
でのハプニング、会話が途切
れる静寂な時間。そんな時
も、子供同士で声をかけあい、
先生たちは笑顔で見守り、あ
りがとうの歌をうたったラスト
には、子供たちのやり遂げた
達成感が伝わる素晴らしい劇
でした。

もうすぐ年長さん。この劇の
様に、人を大切に想う気持ち
をこのまま忘れず育つて欲
しいです。最後になりました
が、盛岡幼稚園の先生方、
いつもきめ細かいサポー

ト本当にありがとうございました。
素敵な思い出を家族で反芻
して大切にしていきます。

ありがとうございました。

3学期の生活(行事)から

★第3学期始業式(1月20日)

今年度最後の学期がスタート
しました。・鮭の赤ちゃんも紹
介され毎日のように水槽に頭
をくっつけ観察を続けていま
す。

★Aクラス保育参観(1月27日)

親子で一緒に大きな「バル
ーン」に初体験！いろいろな形
に変化するバルーンに大興奮
でした。

★節分(2月3日)

新聞紙で作った新聞豆・・今
年もBクラスが鬼の役をし、
「鬼ダンス」を披露してくれま
した。「いらら鬼を退治する」
と子ども達なりに自分の中の
鬼を見つけ退治しました。

★保育参観・懇談会(2月4日)

未満児の参観日が行われま
した。普段の保育の様子を見
て頂き、これまでの成長を一
緒に喜び合いました。

★B/Cクラス保育参観・懇談会

Bクラスはホールで、Cクラス
は保育室で劇遊びをしました。
照れながらもしっかりと自分
の役をこなしていました。(2月
17日)

★一日入園・入園説明会(3月3日)

平成29年度入園のお子さん
をお迎えしAクラスがダンス
を披露してくれました。

★修業式(3月15日)

BクラスCクラスの子ども
達が大きくそして元気に過
ごせたことに感謝をしまし
ました。

★卒業式(3月16日)

34名の子ども達の未来を
これからも応援していきたい
と思います。



Bクラス「しんきゅうおめでとう」

編集後記

子ども達を取り巻く社会情勢
が目まぐるしいなか、子ども
達の姿はどの時代も変わる
ことなく天真爛漫な姿に心
が癒される毎日です。

先日、年長児の親子茶会
が行われ、親子で静かなひと
ときを過ごしました。始め
て出会う茶道道具やお作法
にしっかりと向き合っていた
子ども達はさすが年長児と
いった感じでした。初めて
のお抹茶の味は忘れられない
思い出になることでしょう。

盛岡幼稚園は来年度創立一
〇周年を迎えます。創立当
時から保護者と園との共同
が言われています。子ども
達が鮭の赤ちゃんを見守
るように、子ども達一人
ひとりの成長を保護者の皆
様と一緒に支えあいながら
これからも見守っていき
たいと思います。

学校法人 内丸学園

幼保連携型認定こども園

盛岡幼稚園

〒020-0002

盛岡市中央通一六―四七

TEL 六二二―三三〇一

理事長 坂本 洋